

東松島市火葬場整備事業  
火葬炉設備工事事業者選定

審査講評

平成28年7月

東松島市火葬炉設備工事  
事業者選定委員会

## 1 整備事業の概要

- (1) 工事名称 東松島市火葬場整備事業 火葬炉設備工事
- (2) 工事場所 東松島市大塩字引沢 地内（旧河南地区衛生処理組合跡地）
- (3) 工事期間 平成29年9月～平成30年9月（予定） 供用開始目標：平成30年7月
- (4) 設備概要 火葬炉（人体炉） 2基

## 2 プロポーザルの実施

本市の火葬場建設基本計画においては、火葬炉設備の導入にあたり、安全性、環境性能及び経済性（イニシャルコスト並びにランニングコスト）を高い水準で実現することを目指しています。その目的を達成するための事業者選定にあたっては、技術力、専門性及び豊富な実績を有する事業者から、提案を幅広く募集することにより、優れた提案を持つ事業者の選定をすることができる簡易公募型プロポーザル方式を採用しました。

なお、参加表明及び技術提案は東松島市火葬炉設備工事事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）が総合的に審査及び評価し、本工事に最も適した提案を行ったと認められる者を請負候補者として選定し、併せて予備候補者として次点者を選定しました。

## 3 選定委員会

事業者を選定するにあたり、その手続を厳正かつ、公正に行うため、東松島市プロポーザル方式の実施に関するガイドラインに基づき、選定委員会を設置しました。

### (1) 第1回選定委員会

開催：平成28年4月26日（火）

内容：プロポーザル実施要領、選定審査方法及び審査基準等、選定日程、火葬炉設備工事要求水準、プロポーザル実施公告の協議

### (2) 第2回選定委員会

開催：平成28年6月30日（木）

内容：技術提案提出内容の確認及び審査・評価方法の協議

### (3) 第3回選定委員会

開催：平成28年7月8日（金）

内容：プレゼンテーション及びヒアリングの実施

## 4 選定の日程

平成28年	5月	6日	プロポーザル実施公告
	5月	10日	参加表明に関する質問受付期限
	5月	11日	参加表明に関する質問回答
	5月	13日	参加表明書提出期限
	5月	16日	資格審査実施及び通知
	5月	20日	技術提案に関する質問受付期限
	5月	25日	技術提案に関する質問回答

6月	16日	技術提案書提出期限
7月	8日	プレゼンテーション及びヒアリング
7月	13日	結果発表及び通知

## 5 技術提案書の審査と評価

審査にあたっては、提出を要請した技術提案書とヒアリングを基に評価を行い、審査の手順は次のとおりとしました。

- (1) 各評価項目に対し、委員ごとに評価（ランクづけ）を行う。
- (2) ランクに対応する得点を付け、提案者ごとに各委員の得点を集計し、その結果、最も得点が高い提案者を請負候補者、2番目を次点者とする。
- (3) 評価にあたっては、技術評価の得点が満点（980点）の7割を超えることを条件とする。

## 6 参加表明及び技術提案提出者（参加表明順）

- 1番 太陽築炉工業株式会社（整理記号：A）
- 2番 富士建設工業株式会社（整理記号：B）

## 7 審査結果

審査の結果、最多得点者である富士建設工業株式会社を請負候補者として選定しました。次点者として、太陽築炉工業株式会社を選定しました。

提案者（参加表明順）	得点（満点 1,400 点）
太陽築炉工業株式会社	1198.23 点
富士建設工業株式会社	1278.00 点

## 8 総評

東松島市火葬場整備事業における火葬炉設備工事の技術提案を募ったところ、2者からの参加表明及び技術提案がありました。

審査は技術提案書、プレゼンテーション及びヒアリングにより厳正かつ公正な評価を行い、審査委員会の総意により選定を行いました。

各社とも実績と経験に基づく高度で特徴的な独自の技術により、本市の要求水準を満足し、安全性、環境性能及び経済性を高い水準で実現できる提案をいただいたことに感謝申し上げます。

請負候補者として選定された富士建設工業株式会社は、業務実績が豊富であり、組織体制も充実しているとの評価でした。

技術評価に関しては、火葬炉設備の全体構成について、理念・取組方針・実効性が非常に明確な提案である一方、オールセラミック炉の実績が乏しいとの評価もありました。

本市が重要視する火葬炉設備の安全性では、総意工夫が図られ、効果的な内容であるとの評

価でした。

大気汚染、悪臭、騒音及び振動、作業効率向上及び作業負担軽減等の労働安全衛生への対策と配慮については、効果的な内容であるとの評価でした。

整備及び運営コスト縮減対策については、縮減が期待できる内容であるとの評価でした。

共用開始後のアフターサービス体制については、近隣施設での業務実績と、市内事業者との連携構築など迅速な対応が期待できる提案でした。

当該事業への実施体制については、プロジェクトチームによる実施体制の構築など事業の推進に期待が持てる提案でした。また、業務提携先への市内業者採用なども評価できるものでした。

プレゼンテーションにおける説明能力及び質疑等への応答能力については、具体的な説明能力に優れ、質疑に対する応答も的確であったとの評価でした。

価格提案に関しては、イニシャルコストにおいて本市の提案上限額を大きく下回る提案であり、コスト縮減が期待できるものでした。ランニングコストについても、本市の基本計画で想定するコストを大きく下回る提案であり、実運用に際しても更なる縮減の実現を期待するものです。

今回の選定により、同時に実施している設計業務等との連携を図ることとなりますが、本事業の完成度の向上に協力いただくことを期待するものです。

次点候補者として選定された太陽築炉工業株式会社は、宮城県内で最大炉数を有する施設を手掛けた実績があるものの、近年における宮城県内及び東北地区の実績に乏しいとの評価がありました。

技術評価に関しては、火葬炉設備の全体構成について、ごみ焼却プラントと同様な縦型炉の構造であり、燃焼施設として効果的ではないかという評価もありました。

火葬炉設備の安全性に関しては、非常時の安全対策として効果的な内容ではありましたが、設備の耐久性についての提案は具体性が乏しいものでした。

大気汚染、悪臭、騒音及び振動については、効果的な内容であるとの評価でした。

作業効率向上及び作業負担軽減等の労働安全衛生への対策と配慮については、創意工夫があり非常に効果的な内容であるとの評価でした。

整備及び運営コスト縮減対策については、具体性に欠ける提案内容であり、実績や事例による提案を求める評価もありました。

共用開始後のアフターサービス体制については、要求水準を上回る保証期間の提案であり、供用開始初期の対応としては安心できるとの評価がありました。

当該事業への実施体制については、期待ができる内容であるとの評価でした。

プレゼンテーションにおける説明能力及び質疑等への応答能力については、熱意が伝わる提案であったと複数の委員が評価するものでした。

価格提案に関しては、イニシャルコストにおいて本市の提案上限額を下回る提案であり、一定程度のコスト縮減は期待できるものでした。ランニングコストについては、本市の基本計画で想定するコストを大きく下回る提案でした。

最後に、技術提案をいただいた各社については、多大な労力と時間をかけての提出資料等の作成とヒアリング等への参加をいただき、改めて感謝を申し上げます。